

二〇二〇年度

国

語 (B日程)

(解答はすべて解答用紙に記入しなさい)

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、一部省略した部分があります。)

もうひとつ、この国の文化と関係のある話をします。

あなたは、人の頼みを簡単に断れますか？

友達から何か頼まれた時、イヤなことはイヤだときっぱりと言えますか？

イヤだなあと思っているでも、なかなか「イヤです」とは言えなくて、 A 相手の言うことに従ったりしませんか？

この国では、なかなかイヤと言えない人が多いのです。

それも、あなたの弱さではなく、この国の文化と関係があるのです。

昔、アメリカ人のスタッフと仕事をした時のことです。

「くをやってくれませんか？」と言うと、そのアメリカ人はにこやかに微笑みながら「できません」と答えました。

僕はびっくりしました。

普通、私たちが日本人が何かを断る時は、すこくつらそうな顔をするか、申し訳ないという悲しい顔をするか、すみませんという反省する顔をし

ます。でも、そのアメリカ人は、微笑みながら「NO」と言ったのです。

¹僕は衝撃を受けました。

そんな顔で「イヤです」と言う人を見たことがなかったのです。

あんまり驚いたので、「どうして、微笑んでいるのですか？」と聞きました。

相手は B して「どうして微笑んでいたら変なの？」と逆に質問してきました。

僕は「だって、断るってことは、ストレスがたまりませんか？『NO』って言うのは、²ハードルが高くないですか？」と答え

ました。彼は、やっぱり、 B したまま、「できない」とをできないということは、当たり前のことでしょう」と C 言

ました。

5

10

15

20

それもそうだなと、僕は思いました。

でも、僕は、そしてたぶんあなたも、何かを頼まれて断る時は、とても苦しい気持ちになります。

申し訳ない気持ちになります。

3 そんな気持ちになりたくないから、なるべく、ムチャだと思っ頼みごとも、聞こうとしてしまいます。
どうしてなんだだろう？　　と思いました。

イヤなことをイヤと断るだけで、どうしてこんなに苦しいのだろう。

よく考えたら、変です。

だって、自分はイヤだと言っているだけなのです。

なのに、僕だけじゃなくて多くの日本人は「イヤです」と言うことにストレスというか、抵抗を感じるのです。

それ以降、僕は、外国人が断る時の表情をよく観察するようになりました。

じつに、自然に「イヤです」と言っているように感じました。

4 できないことはできない。イヤなことはイヤ。ムリなことはムリ。 そんな当たり前前のことを言っている様子でした。
どうしてなんだろうと考え始めました。

そして、「世間」と「社会」と言う考え方にだとり着きました。

この二つが、この国の文化を理解する重要なポイントなのです。

「世間」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？　ひょっとしたらないかもしれませんね。

「社会」はありますね。科目にもなっていますが、その意味ではありません。

今から、「世間」と「社会」とは何かという説明をします。

少し長い話になります。

D

「世間」というのは、あなたと、現在または将来、関係のある人達のことです。

具体的には、学校のクラスメイトや塾で出会う友達、地域のサークルの人や親しい近所の人達が、あなたにとって「世間」です。

「世間」の反対語は、「社会」です。

「社会」というのは、あなたと、現在または将来、なんの関係もない人達のことです。

例えば、通ですれ違った人とか、電車で隣に座っている人とか、初めていくコンビニのバイトの人、隣町の学校の生徒などです。

日本は「世間」と「社会」という、二つの世界によつて成り立っているのです。

具体的にどういうことか、説明しましょう。

あなたはおばさん達の団体旅行とかに出会ったことはありませんか？

昔、僕が駅で電車を待っていた時のことです。

周りにおばさん達が何人かいました。

電車がホームに入ってきて、ドアが開くと、僕の前におばさんが駆け込みました。

そして、四人掛けのシートの前に立って、僕の後ろに向かつて声をかけました。

「鈴木さん！　山田さん！　ここ、ここー」

後から来たおばさん達は、その声に従つて、僕を追い越して当然のようにシートに座りました。

僕ももう一人の乗客は、おばさんにブロックされて、シートに座れませんでした。

一般的ルールでは、乗ってきた順番にシートに座るはずですが、このおばさんは、僕たちを無視して、後ろの仲間を呼んだのです。

どうです。こんな光景、見たことないですか？

僕を無視したおばさんは、冷たい人でしょうか？　そうじゃない、ということをおあなたは分かるでしょう。

このおばさんは、おばさんを知る人達の間では、おそらく、世話好きで面倒見がいいと思われてるはずです。

おばさんは、自分に関係のある人達を大切にしているのです。

「世間」は、自分と関係のある人達のことだと書きました。

25

30

35

40

45

50

55

60

65

X、このおばさんは、自分の「世間」を大切にしているのです。
そして、次に乗ってきた僕ともう一人の乗客は、自分と関係のない「ア」の人なのです。だから、簡単に無視できるのです。

70

日本人は、基本的に「世間」に生きています。
自分に関係のある人達をとて大切にします。けれど、自分に関係のない「イ」に生きる人達は、無視して平気なのです。

それは、冷たいとか意地悪とかではなく、生きる世界が違うと思っているからです。
あなたも、街で知り合いに会つと、気兼ねなく声をかけるでしょう。

75

「ウ」に生きている人とは、普通に話せます。
でも、知らない人にはなかなか声をかけられないはずです。それは、「エ」に生きる人だからです。

『cool japan』に出演しているブラジル人が、ある日、僕に言いました。
「日本人は本当に優しい人達だと思う。3・11の東日本大震災の時、みんなが助け合っていた。私の国だったら、コンビニが襲われたり、交通が乱れてパニックになっていただろう。でも、日本人は、そんなことはなかった。素晴らしい」

80

Y、数日後、彼は戸惑った顔をして僕に言いました。
「今日、ベビーカーを抱えた女性が、駅の階段を上がろうとしていた。彼女は、ふうふう言いながら、ベビーカーを抱えていた。信じられない。私の国なら、すぐに彼女を助けて、ベビーカーを代わりに持ってあげるだろう。どうして日本人は彼女を助けないのか？ 日本人は優しい人達じゃなかったのか？」

85

どうして助けないのか、日本人のあなたなら、その理由は分かるでしょう。
日本人は冷たいからか？ 違いますよね。

(出典 鴻上尚史『「空気」を読んでも従わない 生き苦しさからラクになる』岩波ジュニア新書による)

問一 [] A・Cに入る言葉として最も適当なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- A ア ずるずると イ ざらざらと ウ するすると エ ばつばと オ ちつさと
B ア ニヤニヤと イ ドキドキと ウ ピクリと エ キョトンと オ ハツと
C ア うだうだと イ えいつと ウ さらつと エ がみがみと オ ずけずけと

問二 [] X・Yに入る言葉として最も適当なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- A さらに イ ところが ウ つまり エ あるいは オ もし カ たとえは

問三 — 線1「僕は衝撃を受けました」とありますが、どういうことに対して「衝撃を受けた」のですか。「〜こと。」に続くように、本文中から二十三字で抜き出し、最初と最後の五字を答えなさい。(句読点等記号も一字に数える。以下の問いも同じ。)

問四 — 線2「ハードルが高くないですか？」とありますが、どういうことですか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- A 相手にストレスを与えずにできないと伝えることは、困難だということ。
イ つらい気持ちにならずに断ることは、乗り越えるべき課題だということ。
ウ 外国人のように楽観的な受け答えをすることは、困難だということ。
エ 相手の頼みごとを完璧にこなすことは、乗り越えるべき課題だということ。
オ できないことはできないと相手に伝えることは、困難だということ。

問五 — 線3・4「どうしてなんだろう」とありますが、それぞれ何に対しての疑問ですか。最も適当なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- A ストレスを感じずに断れるかどうかは、その国の文化への理解が必要だということ。
イ 日本人は頼みごとを断ることをつらく感じるのに、外国人は当然のように断ること。
ウ 素直に気持ちを伝えると、気まずくなってしまうのではないかと心配しすぎるということ。
エ その場の勢いで頼みごとを断ったが、後になってそのことをつらく感じることに。
オ 申し訳ない気持ちになりたくなくて、無理な頼みごとを聞こうとしてしまうこと。

問六 — 線5「その意味ではありません」とありますが、どういうことですか。次の文の空欄 i・ii に入る言葉を、本文中から i は二字で、ii は二十二字で抜き出さない。

i (二字) という意味ではなく、ii (二十二字) のことを指す。

問七 [] Dには次の四つの文が入ります。文意が通るように並べ替えて、二番目にくるものを記号で答えなさい。

ア「世間」と「社会」という二つの言葉を理解すると、あなたの生き苦しさのニュアンスがよくわかるようになるのです。

イでも、あなたの生き苦しさは「世間」と「社会」は密接に関係しているのです。

ウ「どうしてこんなことを読まないといけないのだろう」と思うかもしれません。

エこの二つの言葉は、大事なキーなのです。どうか、ガマンして、読み続けて下さい。決して、難しい話ではありませんから。

問八 — 線6「僕の後ろに向かって声をかけました」とありますが、なぜですか。最も適当なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

アおばさんは、知らない人に席を取られてしまうことが嫌だったから。

イおばさんは、電車に乗る直前に、僕の後ろに友達がいることに気がついたから。

ウおばさんは、世話好きで面倒見がよく、知り合いを大切に思っているから。

エおばさんは、自分のことしか考えられないような冷たい性格だったから。

オおばさんは、自分よりも若く見える僕に、優先座席を取られなくなかったから。

問九 [] ア～エには、「世間」か「社会」のいずれかの言葉が入ります。「世間」と入るものを一つ選び、記号で答えなさい。

問十 — 線7「どうして助けないのか、日本人のあなたなら、その理由は分かるでしょう」とありますが、なぜですか。「世間」「社会」という言葉を使って、四十字以内で説明しなさい。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

翌日、重盛先生にはよくと友香が部長に立候補することを告げると、その日の部活で選挙になり、そして。

ほくはちよつとの票差で、部長に選ばれた。同時に友香が副部長に決まった。その瞬間から、¹すこいそがしくなった。

覚悟はしていたつもりだったが、部長がやらなくてはいけないこと、気になくなくてはいけないことが、山のようにあつた。

重盛先生から、部員に伝えなくてはいけないことを聞き、伝えた。日々のみんなの様子（生き物と部員、どっちも。）を見ては、先生に報告と相談。まずこれが毎日ある。

（うわー、助浜先輩や星野先輩は……こんなにたいへんな役目をやりながら、研究でも結果を出していたのか！ 星野先輩なんて希望の国立大学にも合格して。もう超人だよ！）

しかも友香には、「部長。アンケートの紙、ちゃんと回収した？」「部長、ミーティングの司会進行、ちよつと速すぎるよ！」とやたらに部長を連呼されるわりには、前よりもぐつときびしく注意される。で、いうか、ふたんのよび方は「あきら」なんだけど、主にだめ出しするときに「部長」とよばれるのだ。

²その日は終業式だった。

「あきら。」

部活の終わりのミーティングのあと、友香が声をかけてきた。

「紅佳、待ってるよ。」

「うん。」

ほくらは、あの日……紅佳が部をやめると言つて部室を飛び出してから、話せていなかった。

紅佳が、ずつと学校を休んでいるからだ。

数日前に、紅佳のお母さんから重盛先生のほうに連絡があり、水族館をやめさせてほしいと伝えてきたそう。重盛先生は、そのことをよくと友香に教えてくれた。

「相良の退部の意志はかたいようだ。……で、どうする？」

ぼくと友香は顔を見合わせた。

「ぼくらは、やっぱり紅佳と直接、話がしたいです。」

「つらいことがあったのはわかるけど……、カクレマノミの世話も大好きだったし……本当の本当にやめたいのか、気持ちをたしかめたいです。」

「そうか。そしたら相良と会ってきてくれ。ただし、きみらの言いたいことを言うんじゃないで、相良の思っていることを聞いてくる、そのために会うんだぞ。」

重盛先生に言われて、³どきんとした。ぼくも友香も、紅佳に部にもとってほしいと言うつもりだったのだ。

そして今日が、紅佳と会う約束をした日なのだ。

ぼくと友香は、紅佳の家の前に立った。

「わざわざ来てくれてありがとうね。」

お母さんは、玄関ドアを開けるなり、申し訳なそうにぼくらに A を下げた。

「いえ、その、ぼくらも心配で。」

「ちよつとでも話せたらと思って。」

「あの子、部屋からぜんぜん出てこないの。やつと話したと思ったら、水族館部をやめたいってことだけで、なにがなんだか。仲良しの二人が来てくれたら、気持ちが変わるかもしれないわ。どうぞ、上がって。」

お母さんに案内してもらい、一階の紅佳の部屋に行った。

「紅佳、入るよ。」

ドアを開けたら、

「……ああ、本当に来ちゃったんだ。」

現れた紅佳はくたびれたTシャツにショートパンツ姿で、さつきまで寝ていたような、X の髪をしていた。

いつもきれいに髪を整えて、友香や夢莉におしゃれのアドバイスをしていた紅佳が、そんな様子でいるのが、⁴ショックだった。

「なんで来たの？ 二人そろって。」

紅佳は、めんどくさそうに立ち上がった。

「その、ぼくら水族館部の部長と副部長になったんだ、それで……。」

その言葉を聞いたとたん、紅佳の顔が 5 。

「部長？ 副部長？ ああ、それで部の代表として、だめ部員の様子を見に来たんだ！」

「そうじゃないよ！ わたしたち、紅佳が本当の本当に部をやめたいのか、気持ちを聞きたいって来たんだよ。」

「本当の気持ちなら、みんなの前で言ったことが全部よ。わたしには、無理。無理なんだって。」

紅佳が、壁のほうに B をそらして答えた。

「紅佳、キツいんだったら班長なんてやらなくていい。みんなで仕事を分担して、自分に合ったことをやればいいんじゃない？」友香が言った。

「そうだよ。ぼくもあれから、ナンノクロロプシスやワムシの育て方、繁殖のことを少しは勉強した。ぼくが繁殖班を手伝うしよ。みんなでいっしょにがんばっていけば……。」

「……だから、もうがんばれないんだって……。」

紅佳の声が、かすれた。

「二人にはわからないよ。水族館部のために、いくらでもがんばれちやう、わたしはそういう人にはなれないもの。大好きだったカクレマノミも、今はまともに見られない。」

紅佳がうつむいたので、泣き出したのかと思った。でも、泣いていなかった。

「二人はがんばって、水族館部を盛り上げて。それで、わたしのことは放っておいて。わたしがいなくても、きっと二人が部長と副部長だったら、部は大丈夫だと思うし。」

そう言って、ほんの少しだけ笑った。

「もう、帰って。」

ぼくも友香も、それ以上どうすることもできなかった。

紅佳の気持ちのドアが、目の前でバタンと閉じてかきがかかったのを、感じたからだ。

「わかった。じゃ、一学期に学校で会おう。」

それだけ言うのが、せいっぱいだった。

友香とならんで駅に向かって歩いていたが、背中に石のつまつたりエックでもしよつてるような感だった。

紅佳を元気づけて、部にもどつてもらふところか、かえつて距離を遠くしてしまった。いや、ぼくが話したこと、退部を決定的にしてしまった気がする。

話をしたのが、助浜先輩や星野先輩だったら、こうはならなかったかもしれない。

(全力でがんばる、なんて言ったけど。やっぱりぼくには部長なんて無理なのかな。)

しばらく無言で歩いていたが、駅の屋根が見えてきたとき、友香が言った。

「明日から夏休みだね……。」

「そうだな。」

夏休みだからって、一般公開日は休みにならないし、生き物の世話もある。

津島合宿の段取りも、先生に聞いておかないといけない。

それに紅佳がもどらないと決まつて、繁殖班はどうなるのか。一年生だけでどうやって続けていくのか、いや続けるかどうかから考えないといけない。

自分の研究だって、放つておくわけにはいかない。むしろ夏休みに集中して、データを集めないといけないし……。

「あきら、あのさ、わたし、見つけちゃった。新しい目標。」

友香のその言葉に、考えごとでいっぱいだった頭に、すいっとすきまができた。

「え？」

「聞いてくれる？」

こつちを見上げた友香の瞳が、光をはね返す真昼の川面みたいに Y 輝いていた。

(出典 令丈とロ子『長浜高校水族館部』講談社による)

問一 ☐ A・Bに入る言葉として最も適当なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 目 イ 口 ウ 耳 エ 手 オ 足 カ 頭

問二 ☐ X・Yに入る表現として最も適当なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

X ア つやつや イ びしょびしょ ウ ひらひら エ くしゃくしゃ オ さらさら
Y ア メラメラ イ チリチリ ウ キラキラ エ ズキズキ オ ビチビチ

問三 ー線1「すごくいそがしくなった」とありますが、その内容として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 部員たちに仕事ぶりをきびしくため出しさせたら、部のためにすぐに改善する。
イ 部の活動が盛り上がるように自分の研究について先生と相談し、よい結果を出す。
ウ 自分の研究を進めると同時に、部員達の目標となるように国立大学への進学を目指す。
エ 退部する部員が出ないように副部長と打ち合わせをして、常に部員に声かけをする。
オ 部内の雑務をこなしつつ、部員に指示を出し、活動の様子を先生に報告し相談する。

問四 ー線2「その日」とありますが、何の日ですか。本文中から十一字で抜き出しなさい。(句読点等記号も一字に数える。以下の問いも同じ。)

問五 ー線3「どきんとした」とありますが、なぜですか。四十文字以内で答えなさい。

問六 ー線4「ショックだった」とありますが、なぜですか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア いつもと違ってだらしのない紅佳の姿に驚いたから。
イ 紅佳の様子が変わらないことにいらついたから。
ウ お母さんの気持ちを無視する紅佳にあきれたから。
エ 訪問を喜ばない紅佳の発言に傷ついたから。
オ 紅佳のそつけない態度に落ち込んだから。

問七 ☐ 5にあてはまる言葉として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 輝いた イ ぼんやりした ウ こわばった エ 和らいだ オ やつれた

問八 — 線6「かきがかかった」 — 線7「石のつまった」に込められた心情として最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

6 「かきがかかった」

- ア 後悔した
- イ 心を閉ざした
- ウ 不安になった
- エ ふてくされた
- オ あきらめた

7 「石のつまった」

- ア 寂^{さび}しげな
- イ 充実した
- ウ 悲しんだ
- エ 気が重い
- オ 楽しみな

問九 — 線8「やつぱりかくには部長なんて無理なのかな」とありますが、このときの心情として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 友香とも上手く話せないくらい会話が苦手だと思っている。
- イ 部長の仕事にだめ出しができる友香の方が適任だと思っている。
- ウ 友香に紅佳とのやりとりを聞かれてしまったことが恥^{はづか}かしい。
- エ 自分の発言が部内の空気を悪くしていることを反省している。
- オ 紅佳を部にもどらせることができなくて自信をなくしている。

問十 — 線9「考えごとでいっぱいだった」とありますが、その内容として適^{~~~~~}当でないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分の研究の進度について。
- イ 自分が部長になった理由について。
- ウ 部の繁殖班の存続について。
- エ 夏合宿の段取りについて。
- オ 夏休み中の生き物の世話について。

三 次の各問いに答えなさい。

問一 次の — 線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① あ^のソツキユウは打てない。
- ② コウバンで道をたずねた。
- ③ ネンガ状を出す。
- ④ 友人にサイカイした。
- ⑤ ナれた手つき。

問二 次の — 線部の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① ようやく悲願^{びがん}が達成された。
- ② 煙^{けむり}を感知する装置を作る。
- ③ 手間^{てま}をかけて作られた皿。
- ④ 方眼紙^{かうがんし}に図形をかく。
- ⑤ この薬はあまり効^きかない。

問三 次の語句が最も正しく使われている文をそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。

- ① 手を広げる
- ア 敵の動きが手を広げたようにわかる。
 - イ あまりに重い荷物に手を広げてしまった。
 - ウ 順調に進んでいるので商売の手を広げた。
 - エ 泣きやまない子どもに手を広げる。
 - オ 旅行に行くたびに私は彼^{かれ}に手を広げた。
- ② 目を光らせる
- ア 先生が生徒に目を光らせていた。
 - イ 目を光らせてなくした物を探す。
 - ウ 毎日が忙しくて目を光らせた。
 - エ 大きな客船を海で見て目を光らせた。
 - オ 急に声をかけられて目を光らせた。
- ③ 体を張る
- ア テストが近づいてきたので体を張った。
 - イ 体を張って表^{ひそひそ}彰台にあがった。
 - ウ 雷^{かみなり}の大きな音に思わず体を張った。
 - エ 危険な場面で体を張って子どもを守った。
 - オ 災害にそなえて体を張っておく。

問四 次の部分に共通の部首を加えて一字の漢字を作ります。加える部首名をひらがなで答えなさい。

- ① 丁 支 旦 軍 是
- ② 月 召 音 青 寺

一	問一	A		B		C	
	問二	X		Y			
	問三					}	
	問四			問五	3		4
	i						
	問六						
	ii						
	問七			問八			問九
	問十						

問一	A		B	
問二	X		Y	
問三				
問四				
問五				
問六				
問七				
問八	6		7	
問九				
問十				

三	問一	①		②		③		④		⑤	
	問二	①		②		③		④		⑤	
	問三	①		②		③		④		⑤	
	問四	①		②		③		④		⑤	
	問五	①		②		③		④		⑤	